

# 小規模企業景気動向調査

[平成17年3月期調査]

## 業種によりばらつきが見られるものの、依然足踏み状態が続く小規模景況

平成17年4月13日  
全国商工会連合会

### <調査概要>

調査対象:全国約300商工会の経営指導員

調査時点:平成17年3月末

調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

### <産業全体>

3月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス21.1(前月比プラスマイナス0ポイント)、採算がマイナス26.0(同プラス0.5ポイント)、資金繰りがマイナス24.3(同マイナス2.3ポイント)、業況がマイナス28.2(同マイナス1.7ポイント)となった。製造業は自動車部品製造業を中心に受注量が増加するなど全ての項目で改善した。建設業は公共事業受注の減少との回答が多く、悪化傾向が見られた。小売業及びサービス業では、部分的な回復傾向を見せている。今月期は、各項目において、業種間格差が露呈される調査結果となった。

### <製造業>

製造業については、売上額がマイナス4.4(前月比プラス8.3ポイント)、採算がマイナス11.7(同プラス5.0ポイント)、資金繰りがマイナス11.3(同プラス0.5ポイント)、業況がマイナス12.4(同プラス2.9ポイント)となった。引き続き原材料及び燃料の値上がりによる影響が見られたものの、自動車部品製造業の好調維持などから、売上額を中心に全ての項目で改善した。

### <建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス24.8(前月比マイナス12.0ポイント)、採算がマイナス38.7(同マイナス5.7ポイント)、資金繰りがマイナス35.9(同マイナス8.4ポイント)、業況がマイナス35.8(同マイナス7.9ポイント)となった。引き続き、除雪作業など季節及び地域特性による受注によって多忙との回答も見られた。ただ、市町村合併前の駆け込み受注が落ち着きを見せ始めたなど、公共事業の減少が響いたとの回答が多く見られ、全ての項目で悪化した。

### <小売業>

小売業については、売上額がマイナス28.8(前月比プラス1.6ポイント)、採算がマイナス29.5(同プラス1.5ポイント)、資金繰りがマイナス27.7(同マイナス1.9ポイント)、業況がマイナス34.7(同マイナス1.0ポイント)となった。天候不良による影響を受け、資金繰り及び業況二項目の悪化がみられたものの、季節行事によって若干の動きがあったとの回答があり、売上額及び採算の二項目で改善した。

### <サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス26.4(前月比プラス2.3ポイント)、採算がマイナス24.1(同プラス1.3ポイント)、資金繰りがマイナス22.3(同プラス0.5ポイント)、業況がマイナス29.7(同マイナス0.4ポイント)となった。引き続き旅館業は天候不良が原因で売上不振及び先行き不透明との回答が見られたものの、季節行事などにより理・美容事業者に明るさが感じられるとの回答が見られ、業況以外の三項目にて改善した。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲21.1	▲21.1	0.0	▲12.7	▲4.4	8.3	▲12.8	▲24.8	▲12.0
採算	▲26.5	▲26.0	0.5	▲16.7	▲11.7	5.0	▲33.0	▲38.7	▲5.7
資金繰り	▲22.0	▲24.3	▲2.3	▲11.8	▲11.3	0.5	▲27.5	▲35.9	▲8.4
業況	▲26.5	▲28.2	▲1.7	▲15.3	▲12.4	2.9	▲27.9	▲35.8	▲7.9

業種	小売業			サービス業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲30.4	▲28.8	1.6	▲28.7	▲26.4	2.3
採算	▲31.0	▲29.5	1.5	▲25.4	▲24.1	1.3
資金繰り	▲25.8	▲27.7	▲1.9	▲22.8	▲22.3	0.5
業況	▲33.7	▲34.7	▲1.0	▲29.3	▲29.7	▲0.4

注) D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先:企業支援部 市場開拓支援課 平田 TEL:03-3503-1256(直通)

E-mail: shijo@shokokai.or.jp